

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公表番号】特表2001-507750(P2001-507750A)

【公表日】平成13年6月12日(2001.6.12)

【出願番号】特願平10-530519

【国際特許分類第7版】

C 1 1 D 3/33

B 0 8 B 3/04

B 0 8 B 3/08

C 1 1 D 1/14

C 1 1 D 3/37

【F I】

C 1 1 D 3/33

B 0 8 B 3/04 Z

B 0 8 B 3/08 Z

C 1 1 D 1/14

C 1 1 D 3/37

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月22日(2004.10.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成 16 年 10 月 22 日

特許庁長官 小川 洋 殿

## 1. 事件の表示

平成 10 年特許願第 530519 号

## 2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名称 バイエル・アクチエンゲゼルシャフト

## 3. 代 理 人

〒107-0052

住所 東京都港区赤坂 1 丁目 9 番 15 号

日本自転車会館

氏名 (6078)弁理士 小田島 平 吉



電話 3585-2256

## 4. 補正命令の日付 なし

## 5. 補正の対象

請求の範囲

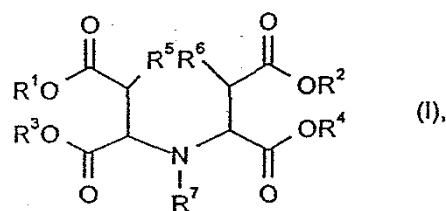
## 6. 補正の内容

請求の範囲の記載を、次のとおり訂正する。



『1. 温度が好ましくは10～100℃、pHが好ましくは3～13においてクリーニング組成物の溶液を用いるフラッシング操作によって、有機および無機性の汚れまたはこれら2種の混合物の汚れを剥がすか溶解させることにより、ガラス、グラファイト、セラミックス、重合体および金属材料、合成および植物纖維からつくれた表面および膜の表面をクリーニングする方法において、使用されるクリーニング組成物は

## i) 式(I)



但し式中R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>およびR<sup>4</sup>は互いに独立にH、Li、Na、K、NH<sub>4</sub>、H<sub>3</sub>NCH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>OH、H<sub>2</sub>N(CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>O)<sub>2</sub>またはHN(CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>O)<sub>3</sub>を表し、

R<sup>5</sup>およびR<sup>6</sup>は互いに独立にHまたはOHであり、R<sup>7</sup>はH、CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>OH、CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>OH、CH<sub>2</sub>CH(OH)CH<sub>3</sub>、CH<sub>2</sub>COOR<sup>8</sup>またはCH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>COOR<sup>8</sup>を表し、ここでR<sup>8</sup>はR<sup>1</sup>とは独立にR<sup>1</sup>の範囲内の意味をもっているものとする、

のイミノジコハク酸、

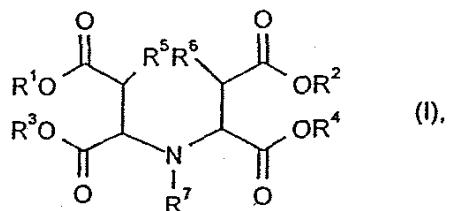
i i) ポリアミン酸、または

i i i) 乳化剤

の系列から選ばれた少なくとも1種の成分を含むことを特徴とする

方法。

2. i) 式 (I)



但し式中  $\text{R}^1$ 、 $\text{R}^2$ 、 $\text{R}^3$  および  $\text{R}^4$  は互いに独立に H、L i、Na、K、NH<sub>4</sub>、H<sub>3</sub>NCH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>OH、H<sub>2</sub>N(CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>O)<sub>2</sub> または HN(CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>O)<sub>3</sub> を表し、 $\text{R}^5$  および  $\text{R}^6$  は互いに独立に H または OH であり、 $\text{R}^7$  は H、CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>OH、CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>OH、CH<sub>2</sub>CH(OH)CH<sub>3</sub>、CH<sub>2</sub>COOR<sup>8</sup> または CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>COOR<sup>8</sup> を表し、ここで R<sup>8</sup> は R<sup>1</sup> とは独立に R<sup>1</sup> の範囲内の意味をもつてゐるものとする、

のイミノジコハク酸、

i i) ポリアミン酸、または

i i i) 乳化剤

の系列から選ばれた少なくとも 1 種の成分、および水、または水と C<sub>1</sub> ~ C<sub>4</sub> - アルコールまたは C<sub>3</sub> ~ C<sub>4</sub> - ケトンとの混合物とからなる群から選ばれた溶媒をベースにし、溶媒は全組成物の特に 40 ~ 99.9 重量%をなしているガラス、グラファイト、セラミックス、重合体および金属材料、合成および植物纖維からつくられた表面および膜の表面をクリーニングするための組成物。』